

## 編集後記

今回のBMNewsも盛り沢山な内容である。第103回技術例会では「永久磁石のサプライチェーン、材料開発及びおおよの最新動向」ということでご講演頂いた。いずれも魅力的な内容であり参考にして頂きたい。寺子屋BM塾では広沢哲氏に「磁石材料の保磁力メカニズムと温度依存性」と題してご講義頂き、徳永理事に各講義のまとめをお願いした。内容的には最先端の研究成果を含んだものとなったためすぐには理解できないところはあるが、かなり明快な講義であった。内外BM技術動向は入山理事に執筆をお願いした。INTERMAG2024で紹介された各種磁石について詳しくご紹介頂いているので是非参考にして頂きたい。

ZOOMを使ったハイブリッドによる各種行事の進め方について色々議論した。コスパ優先で考えるとどうしてもZOOMでの参加者が多数を占めることになってしまう。実際、昨年の寺子屋BM塾ハイブリッド開催では現地参加者は少ない結果となった。一方、技術例会などの場合は約半数が現地参加となり、交流会にも多くの方に参加頂いた。したがって、今年は、各種行事の進め方として、寺子屋BM塾は教育的な位置付けとしてZOOMのみで行い、技術例会は現地での対面による議論を優先するため、現地のみで行うということにした。その結果、寺子屋BM塾への参加者数は問題ないが、技術例会参加者数は残念ながら減少するという結果となった。今後の課題である。

さて、6月の総会で木村礼子氏が次期専務理事兼事務局長に就任することが決まった。私は15年間専務理事兼事務局長として継続して勤めさせて頂いた。故原田CEOの方針であるsmallest officeを実現継続するため各種事務手続きをPC上で可能にするなど進めてきたが、一人体制であるため引継ぎをどのような形で進めたらよいか色々悩んでいた。今回木村氏に引き継ぐことになるが、結構複雑な作業もあることから、今年一年は、私が専務理事、木村氏が事務局長とする2人体制を進めることを総会で承認して頂いた。前期前半の行事については私が主に担当し、その後木村氏にお願いするという進め方をしている。BMNews編集についても次回から木村氏に引き継ぐよう準備しているところである。

機関紙編集委員長

大森賢次